

在庫系BWビジネスコンテンツ
2LIS_03_BF
2LIS_03_UM

2005/04/05

R/3在庫情報をBWで見る方法としては、ビジネスコンテンツ 2LIS_03_BFと2LIS_03_UMを用いるのが一般的です。SAP提供のビジネスコンテンツを用いれば容易にBWキューブを構築できるというのが通例ですが、**在庫系については注意すべきポイントが多いです。**

というのは、**SPRO設定や初期セットアップ時にいくつかのお作法や確認が必要**となっております。また数値検証においても**R/3側の在庫管理の仕組みや、BW側の非累計値の理解**など他のSDやFIに比べると**難易度が高い**です。その意味ではビジネスコンテンツの中では一番敷居が高いといえます。過去のプロジェクトを踏まえて、注意ポイントを列挙いたします。

本資料はR/3またはBWコンサルタントが読むことを想定しており、ロジステックエクストラクタ(LE)や在庫BWビジネスコンテンツキューブの知識が前提となっております。

1.初期設定における注意点

1-1. 産業コード、トランザクションキーの設定 (T-CD:SBIW)

1-2. LOデータ抽出カスタマイジングコクピットの設定 (T-CD:LBWE) 抽出構造の確認

2. BWとR/3間の数値検証方法

2-1. LIS初期セットアップ

2-2. BW初期セットアップ

2-3. 評価金額・数量(在庫/出庫/入庫)は、LIS品目分析でプラントや品目単位に検証

2-4. 合致しない場合は、テーブル S031を閲覧することで初期残や入出庫・評価データの明細を閲覧可能

2-5. LIS品目分析を用いない場合、テーブル MSEGを閲覧することで入出庫データを閲覧することは可能。

再評価や請求書照合のデータはテーブル BSEGを閲覧する必要があるが、膨大な会計明細から抽出するには工夫が必要。

3. LISについてさらなる理解のために・・・

3-1. 消費

3-2. 平均在庫金額

3-3. 在庫回転率

3-4. 死蔵在庫

3-5. 滞留在庫

3-6. ABC分析

【注意】 具体的な内容は各プロジェクトの要件やR/3設定に依存する上、過去の検証結果をそのまま記載するのは守秘義務に抵触する部分もあるので、個別に山本(koji.yamamoto@knowledge-yield.com)までお問い合わせをいただければと思います。

2-1. LIS セットアップ目次

R/3 プラント分析や品目分析はLIS(ロジスティック情報システム)を利用したアプリケーションである。数値検証で使用するLISデータ構成はS031とS032だけであるが、日単位でのトレースも可能にするためS033もセットアップを行う。

S031 集計移動データ

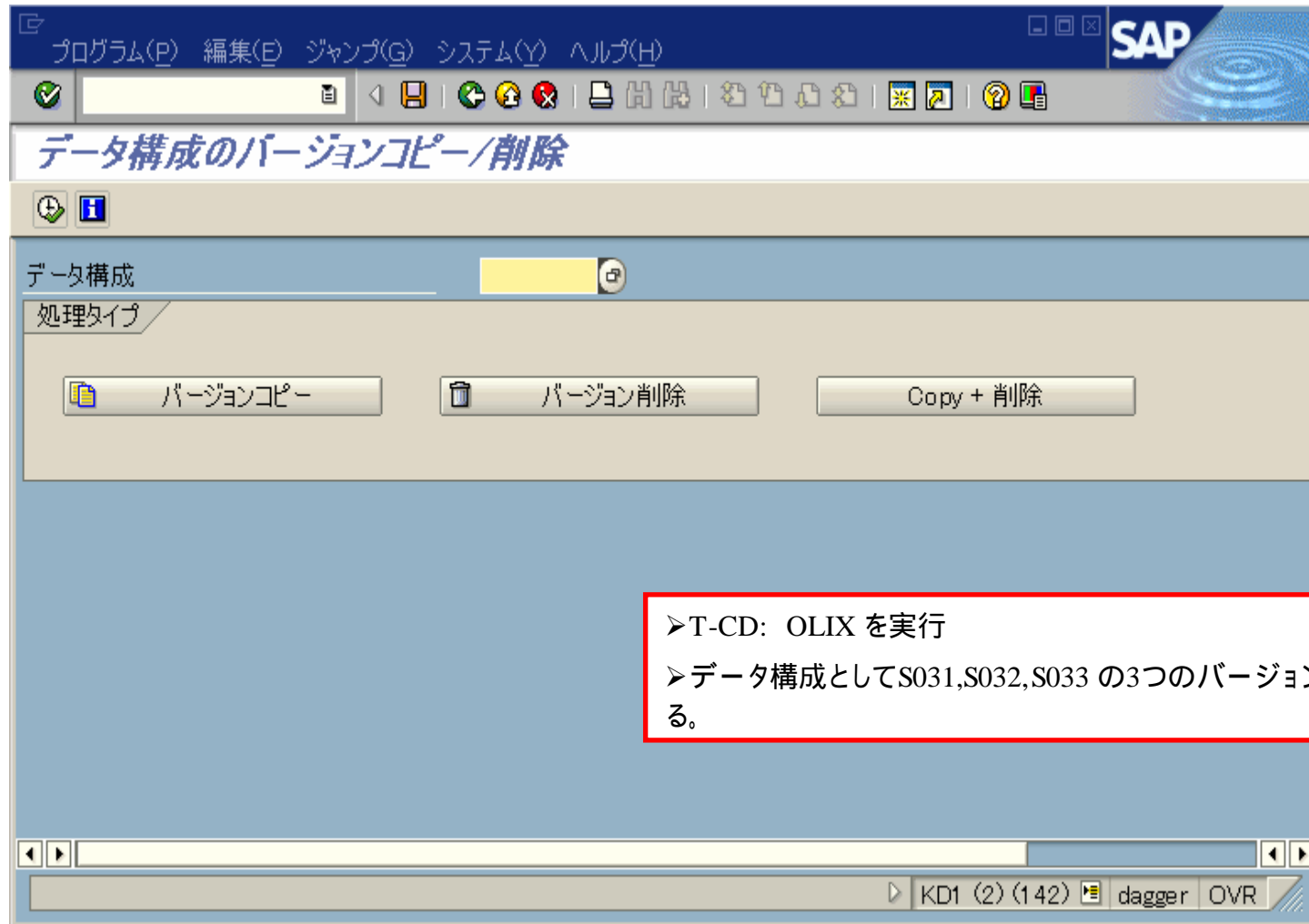
S032 在庫データ構成(タイプC)

S033 日別の移動データ

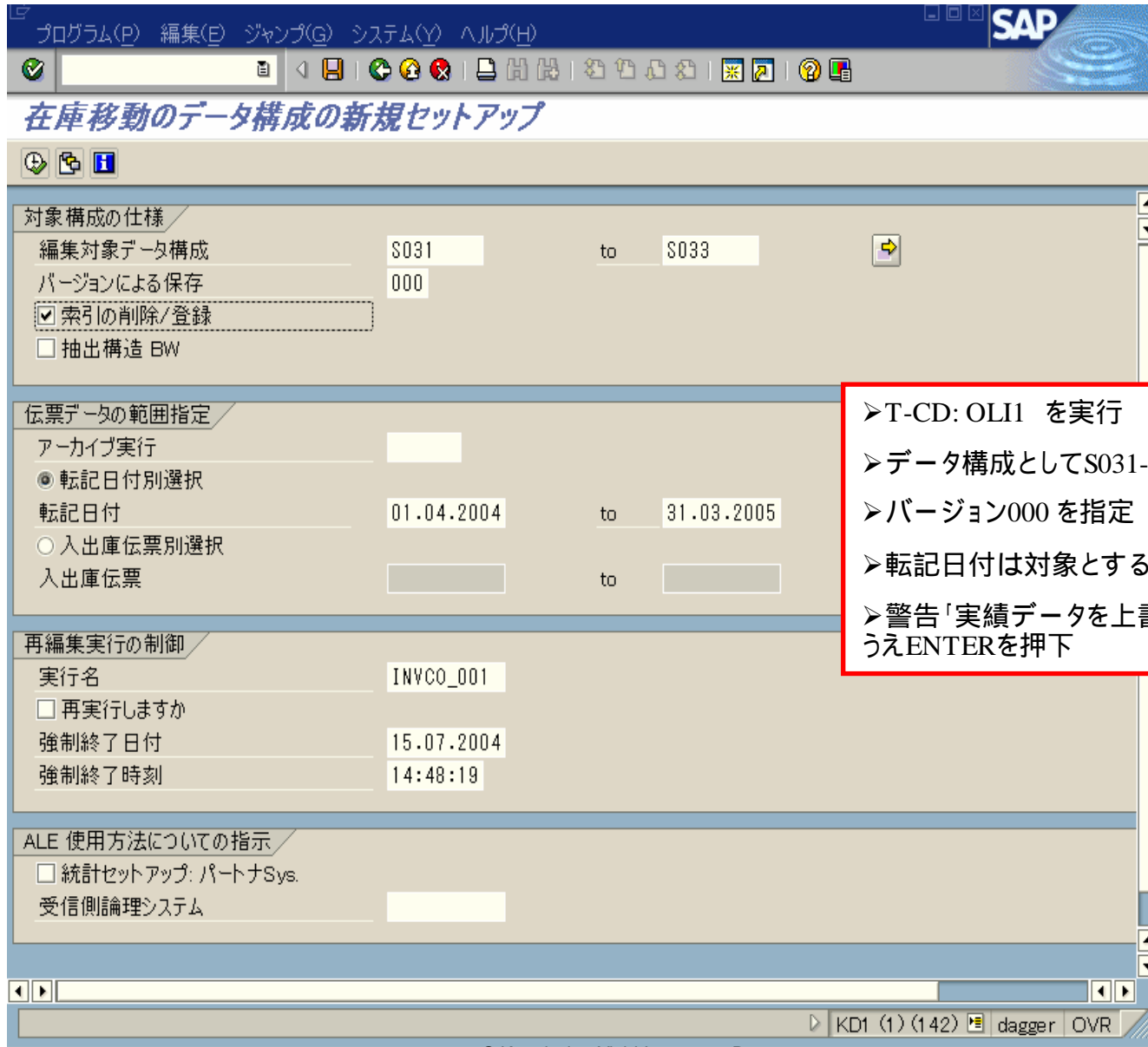
セットアップの大まかな手順としては次のとおり。

- (1) データ構成(S031 – S033)のバージョン000を削除
- (2) 在庫移動の書き込み (S031,S033)
- (3) 在庫残高の書き込み (S031)
- (4) 請求書照合/再評価の書き込み (S031,S033)

2-1-(1).LIS セットアップ

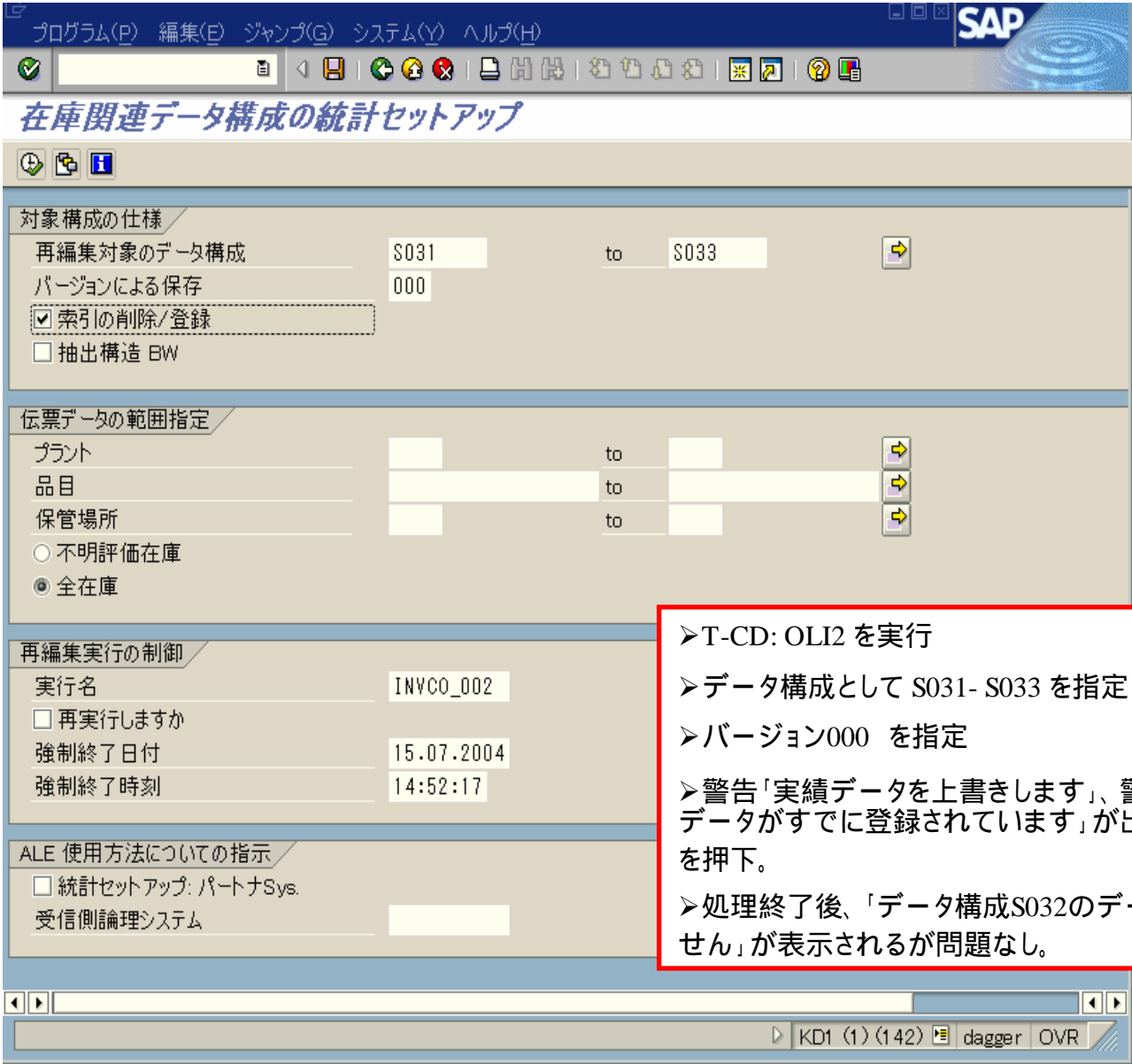


2-1-(2).LIS セットアップ

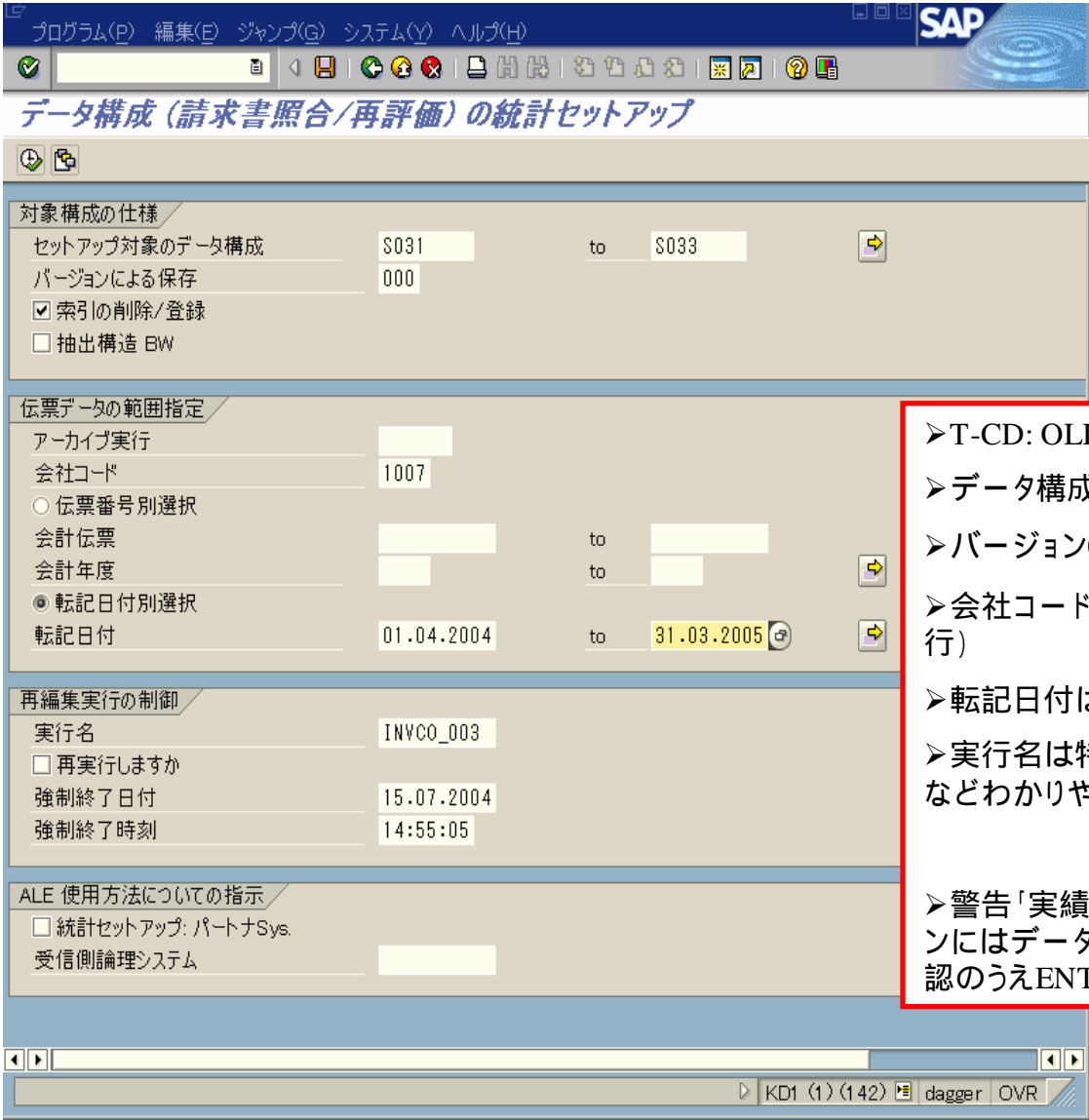


- T-CD: OLI1 を実行
- データ構成としてS031-S033 を指定
- バージョン000 を指定
- 転記日付は対象とする会計年度を日付範囲指定
- 警告「実績データを上書きします」が出るが、確認のうえENTERを押下

2-1-(3). LIS セットアップ



2-1-(4). LIS セットアップ



- T-CD: OLIZ を実行
- データ構成として S031-S033 を指定
- バージョン 000 を指定
- 会社コードを指定 (検証対象の会社数だけ繰り返し実行)
- 転記日付は、対象とする会計年度を日付範囲指定
- 実行名は特に決まりはないが、会社コードを付与するなどわかりやすくしておくほうがよい。
- 警告「実績データを上書きします」、警告「このバージョンにはデータがすでに登録されています」が出るが、確認のうえ ENTER を押下

3-1. LISにおける「消費」

在庫の移動が起きたときに、消費数量としてカウントするかどうかは、その移動タイプに割り当たっている“統計関連区分”と、“消費転記区分”の内容によります。(R/3の消費(MVER)の定義は消費転記区分で、LISの消費の定義は、消費転記区分と統計関連の組み合わせで制御されています。)

関連NOTE: 310183 受注在庫からの引落に対する消費更新

IMG> 在庫/購買管理> 在庫管理/実地棚卸> 移動タイプ> コピー変更: 移動タイプ (T-cd: OMJJ)

統計関連区分

- __ : 関連なし
- 2 : 伝票評価および標準分析(更新)
- 3 : 標準分析のみ(更新)

統計関連に“__”を設定した場合、LISのデータは更新されません。2、および3を設定した場合には統計データは更新されますが、更新のタイミングが異なります。2ならば同期更新、3ならば非同期更新になります。

消費転記区分

- __ : 消費量を更新しない
- G : 計画出庫(総所要量)
- R : 出庫予定参照の場合にのみ計画出庫(それ以外は計画出庫)
- U : 計画出庫(計画出庫)

Rで出庫予定が存在する場合、もしくはGが割り当たっている場合には、その在庫の消費数量のみが更新され、計画外消費は更新されません。Rで出庫予定が存在しない場合、もしくはUが割り当たっている場合には、その在庫の消費数量と、計画外消費が更新されます。

3-1. LIS における「消費」(預託品在庫)

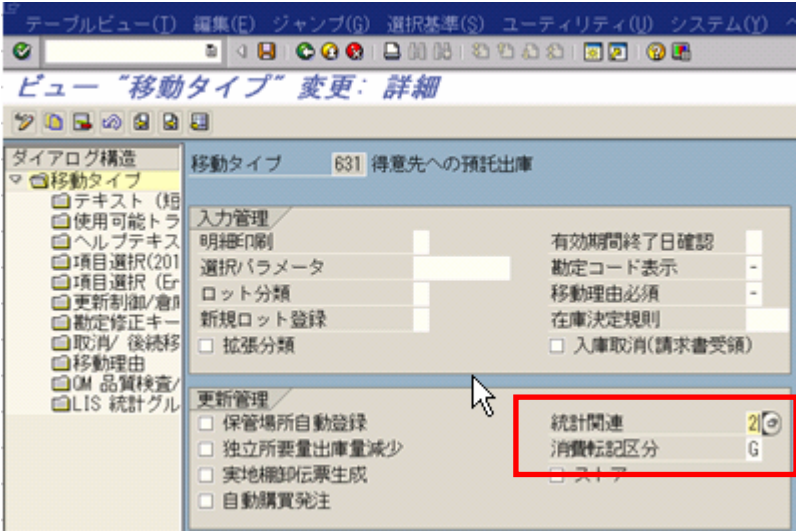
Mvt	移動タイプテキスト	明細印刷	自動登録	勘定	理由	消費転記区分
631	得意先への預託出庫		<input type="checkbox"/>	-	-	G
632	得意先預託品返品		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	G
633	得意先預託品払出		<input type="checkbox"/>	-	-	
634	預託品払出取消		<input type="checkbox"/>	-	-	

預託引渡し受注伝票の出庫確認を行った際に、預託品在庫が自社資産であるにもかかわらず、出庫数量が消費としてカウントされるのはおかしいのではないか、という点につきましては、移動タイプのパラメータ設定による対応が可能です。

標準では、移動タイプ631(得意先への預託出庫)、632(得意先預託品返品)の消費転記区分に“G”が割り当たっています(上図参照)。

移動タイプ631、632の消費転記区分の入力値を“_”に変更し、633(得意先預託品払出)、634(預託品払出取消)の消費転記区分に“G”を割り当てると、「自在在庫 預託品」ではなく、「預託品 客先在庫」の在庫移動の時に消費カウントを上げることができます。

3-1. LIS における「消費」(預託品在庫)



また、預託品への払出し時に、出庫数量が上がらないように、移動タイプ631、632の「統計関連」を“_”に設定する必要があります。(画面は標準設定)

Knowledge Yield, Inc.(ナレッジ イールド インク)

本社 : 113 Barksdale Professional Center, Newark, DE 19711, U.S.A.

日本支社: 〒164-0003 東京都中野区東中野4 - 16 - 11 - 603

<http://www.knowledge-yield.com>

代表取締役: 山本康史

koji.yamamoto@knowledge-yield.com